

祝

市制
10周年

新市の繁栄を目指し 基盤づくりを着実に推進

本市は10月、市町村合併をしてから10周年を迎えました。市ではこれまで、総合計画や行財政改革大綱を定め、新市の繁栄を目指して基盤づくりを着実に推進。歴史や文化が違うまちが一つになって同じ目標に向かい、行政と市民が一体となるまちづくりを進めてきました。

今回は、10年間の取り組みや出来事などを振り返ります。

個性生かし調和を図る

平成16年10月25日、旧恵那市と岩村町、山岡町、明智町、串原村、上矢作町の1市4町1村が合併し、新生「恵那市」が誕生しました。当時、合併に当たり4割程度の項目が未調整として新市に引き継がれました。新市では、市民の皆さんと協議しながら、未調整項目の解消に努めました。

市では、合併直後から全国でも先駆けとなる地域自治区制度を導入。地域協議会が中心となり、各地域のまちづくりが進められてきました。平成18年3月には、市総合計画や市行財政改革大綱を策定。各地域の

個性を大切にしながら全体の調和を図るとともに、足腰の強い行財政基盤の強化に努めました。

施設の整備では、火葬場「えな斎苑」、市中央図書館、市消防防災センターなどが新しく建設されました。市を取り巻く状況としては、リニア中央新幹線の間中駅が隣の中津川市に決まったことや、岩村城跡が「日本100名城」に認定されたことなどがありました。

10月11日(土)に記念式典

市では、10周年を記念し、10月11日(土)に恵那文化センターで記念式典を開催します。入場は会場の都合で招待者のみとさせていただきます。



▲平成16年10月25日に市役所前で行われた開庁式

市政のピックアップ

新市ではさまざまな施策が行われてきました。ここでは、市政の中で行われてきたことの一部を紹介します。

総合計画

6の基本目標を定める

平成18年3月に「人・地域・自然が調和した交流都市」を将来像とした、市総合計画を策定。平成27年度までの10年間の基本構想を示しました。基本計画では、市町村合併に伴う基本的な枠組みの変化に対応する新たな市の基礎を築くよう定めました。



▲施策を盛り込んだ市総合計画の計画書

基本目標の柱は6本。「健やかで若さあふれる元気なまち」「豊かな自然と調和した安全なまち」「快適に暮らせる便利で美しいまち」「活力と創造性あふれる魅力あるまち」「思いやりと文化を育む人づくりのまち」「健全で心の通った協働のまち」です。

計画に基づき、これまでに「中学校卒業までの子どもの医療費助成」「水道未普及地域の解消」「全市域にケーブルテレビネットワークを構築」「第3期テクノパーク(工業団地)への誘致」「学校をはじめとする公共施設の耐震化」「まちづくり基金による市民のまちづくりの支援」など、まちづくりの基盤となるさまざまな施策を行ってきました。

地域自治区

地域づくりの体制整備

平成17年1月、市町村合併前の旧市町村の区域に6の地域自治区を設置し、平成19年4月には、旧恵那市の町単位に8の地域自治区を設置。全域に13の地域自治区が出来ました。

各地域自治区では、地域協議会が設けられ、地域のまちづくりに関する意見や、住民と行政の連携などに関する意見などを取りまとめています。



▲地域協議会が地域懇談会を開催

行財政改革

費用を抑え効率高める



▲行財政改革の大綱と行動計画

平成18年3月に「市行財政改革大綱」と「市行財政改革行動計画」を策定しました。

行財政改革では、財政的な削減としては、職員定数の適正化、市債の繰り上げ償還、市税などの収納率の向上、地域集会所の地元移譲などで効果を挙げました。

この他、市民の視点に立った行政サービスの質の向上や情報共有による市民参画の促進、変革の時代に対応できる人材育成と組織改革、市民との協働によるまちづくりシステムの確立にも取り組みました。

観光交流人口

目標の400万人を達成

平成24年、市の年間観光交流人口の数が目標の400万人を達成しました。市では、平成16年に年間293万人だった観光交流人口を、平成27年までに400万人にする目標を掲げていました。目標達成には、各方面との連携や観光客の誘致、地域での取り組みなどが功を奏しました。



▲市内の各地域でにぎわいを創出

生涯学習都市

三学のまち恵那を宣言



▲記念碑の除幕式

生涯学習都市「三学のまち恵那」宣言は、「社会に役立つ有為な人になろうとの高い志を抱いて、学び続けられ、その精神は朽ちることがない。より良い自分を目指して生涯学び続ける人は、いつまでも人の心に残る人になる」と説く、郷土の先人佐藤一斎の三学の精神を理念として、平成23年4月1日に制定されました。

生涯学習のまちづくりを進める「三学のまち恵那」を実現するため、「読書のすすめ」、「求めて学ぶ」、「学んで生かす」、の三つの柱からなる市民三学運動に取り組んでいます。

10年間の歩み

この10年間にあった主な事業や出来事を振り返ります。



▶市役所開庁式でのテープカット

2004
平成16年

▼恵那スケート場のオープン



2005
平成17年

▶地域ブランドに認定された山岡細寒天



2006
平成18年

2007
平成19年

- 10月25日 旧恵那市、岩村町、山岡町、明智町、串原村、上矢作町の1市4町1村が合併し、新生「恵那市」が誕生
- 11月28日 市長・市議会議員選挙。初代市長に可知義明が就任
- 12月4日 第1回市議会開催
- 12月25日 市体育連盟と旧恵南町村の各体育協会が統合
- 1月25日 地域自治区の条例を制定
- 2月11日 下田歌子生誕150年記念行事の開催
- 3月25日 明智町、東野、武並町に水道施設完成
- 5月17日 市自治連合会が発足
- 7月8日 阿木川ダム湖でダム湖百選認定プレート除幕式
- 10月12日 新火葬場「えな斎苑」完成
- 10月15日 市の花にササユリ、市の木にハナノキを制定
- 12月3日 県クリスタルパーク恵那スケート場がオープン
- 3月27日 中野方ダム完成式
- 4月1日 市総合計画、行財政改革大綱スタート。(財)市文化振興会が発足
- 4月6日 岩村城跡が「日本100名城」に認定。日本3大山城サミットを開催

2008
平成20年

- 10月1日 市民課住民係の窓口サービスが午後6時まで延長
- 12月8日 「山岡細寒天」が地域ブランドに認定
- 12月20日 水道料金と下水道使用料の統一
- 2月1日 市こども発達センター「おひさま」開所
- 3月2日 岩村町の町並みが美しい日本の歴史的風土100選に選定
- 2月23日 企業立地等促進条例でユニオン機工が調印第1号
- 4月6日 ケーブルテレビ「えなっく」チャンネルが開局
- 4月8日 統廃合により恵那南高等学校開校
- 7月7日 市中央図書館(伊藤文庫)オープン
- 7月19日 県内で初の風力発電施設が上矢作町に誕生
- 8月22日 恵那テクノパーク第3期拡張が決定
- 10月25日 市女性消防隊が全国女性消防操法大会で優勝
- 1月18日 こども元気プラザがオープン
- 3月20日 名誉市民伊藤喜美氏推挙式
- 6月22日 中山道広重美術館と東海道広重美術館が姉妹館提携



▲明治、大正、昭和の3村長が集合



▶ケーブルテレビの開局記念式典



▲市中央図書館の開館記念式典

▼市制5周年の式典を開催



2009
平成21年



▶恵那駅隣に「えなてらす」がオープン

2010
平成22年

2012
平成24年

- 11月3日 日本三村サミットを大正村で開催
- 12月3日 明知鉄道「東野駅」で高齢者複合施設と駅舎の共用
- 12月25日 明知鉄道「極楽駅」開業
- 3月2日 「市消防防災センター」運用開始
- 4月1日 岩村診療所に「市透析センター」開設
- 9月5日 くしはら温泉「ささゆりの湯」入館者が100万人を達成
- 10月23・24日 恵那テクノパーク市長サミット開催
- 11月8日 市制5周年記念式典を開催
- 2月1日 光IP電話開通
- 3月20・22日 明知鉄道でDMVが線路と道路で実証実験
- 4月22日 市一般廃棄物最終処分場が笠置町に完成
- 6月27日 国重要文化財の武並神社本殿を再建
- 7月26日 恵那テクノパーク第3期拡張工事が完成
- 9月17日 恵那駅隣に「えなてらす」がオープン
- 11月27日 実践女子学園と市が連携協定締結
- 4月1日 三学のまち恵那を宣言。市総合計画後期計画・第2次行財政改革大綱スタート
- 4月29日 映画「ふるさとがえり」が上映
- 6月7日 JR東海がリニア中央新幹線の県内中間駅を中津川と発表
- 7月31日 大正百年記念式典を開催
- 9月20日 局地的豪雨で中野方町に初めて避難勧告
- 1月28日 ぎふ清流国体スケート競技開催
- 4月20日 「ふれあいエコプラザ」が完成
- 9月15日 次米みのり祭で五つの祭りを開催
- 10月6日 ぎふ清流国体弓道競技開催
- 2月9日 大井宿が岐阜の宝物に、明知鉄道と笠置山クライミングエリアが明日の宝物に認定
- 3月23日 岩村城下町で日本一長いテープカット
- 9月 市の観光交流人口が目標の400万人を達成
- 9月20日 JR東海がリニアの環境影響評価準備書で市内の路線を公表
- 11月18日 国道19号恵那―中津川間の4車線化が完成
- 3月27日 観光ポスターが最高の国土交通大臣賞を受賞
- 3月31日 吉田小学校が閉校し明智小学校と統合
- 10月11日 市制10周年記念式典を開催(予定)



▶まきがね公園で国体の弓道競技を開催



▲岩村本通りの整備の完成を祝い日本一長いテープカット

▶明智町の吉田小学校が閉校



▶局地的豪雨で中野方町に避難勧告

2011
平成23年

- 10月25日 旧恵那市、岩村町、山岡町、明智町、串原村、上矢作町の1市4町1村が合併し、新生「恵那市」が誕生
- 11月28日 市長・市議会議員選挙。初代市長に可知義明が就任
- 12月4日 第1回市議会開催
- 12月25日 市体育連盟と旧恵南町村の各体育協会が統合
- 1月25日 地域自治区の条例を制定
- 2月11日 下田歌子生誕150年記念行事の開催
- 3月25日 明智町、東野、武並町に水道施設完成
- 5月17日 市自治連合会が発足
- 7月8日 阿木川ダム湖でダム湖百選認定プレート除幕式
- 10月12日 新火葬場「えな斎苑」完成
- 10月15日 市の花にササユリ、市の木にハナノキを制定
- 12月3日 県クリスタルパーク恵那スケート場がオープン
- 3月27日 中野方ダム完成式
- 4月1日 市総合計画、行財政改革大綱スタート。(財)市文化振興会が発足
- 4月6日 岩村城跡が「日本100名城」に認定。日本3大山城サミットを開催

2014
平成26年

- 10月1日 市民課住民係の窓口サービスが午後6時まで延長
- 12月8日 「山岡細寒天」が地域ブランドに認定
- 12月20日 水道料金と下水道使用料の統一
- 2月1日 市こども発達センター「おひさま」開所
- 3月2日 岩村町の町並みが美しい日本の歴史的風土100選に選定
- 2月23日 企業立地等促進条例でユニオン機工が調印第1号
- 4月6日 ケーブルテレビ「えなっく」チャンネルが開局
- 4月8日 統廃合により恵那南高等学校開校
- 7月7日 市中央図書館(伊藤文庫)オープン
- 7月19日 県内で初の風力発電施設が上矢作町に誕生
- 8月22日 恵那テクノパーク第3期拡張が決定
- 10月25日 市女性消防隊が全国女性消防操法大会で優勝
- 1月18日 こども元気プラザがオープン
- 3月20日 名誉市民伊藤喜美氏推挙式
- 6月22日 中山道広重美術館と東海道広重美術館が姉妹館提携

※ DMV = デュアル・モード・ビークル。線路と道路の両方を走ることができる車両